

令和元年度 第2回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和元年7月30日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ1F FMはまなす会議室
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・仁志 正樹
 - ・木村 聡
 - ・永沼 興子
 - ・北口 博美
 - ・畑 孝子
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(社長)
 - ・松井 宙夢(スタッフ)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」「その他の意見」についての審議
5. 議事の概要(放送期間7/6~7/23)
 - (1) 局制作番組
「歌謡カラオケ1・2・3」
 - (2) 市民制作番組
「バンドマガジン」
 - (3) その他の意見について

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「歌謡カラオケ1. 2. 3」

演歌好きの方のための番組。演歌歌手のインタビューや市民の方の歌声を放送している。その他、カラオケ情報誌「TORA」より新曲情報や、気になる記事の紹介などを行っている。

① 事前意見回答報告

岡委員長

7月23日(火)の放送について

「新曲の紹介、歌手の紹介とカラオケの情報を知ることが出来た。私としてはカラオケについて特に関心を持っているわけではないが、流される音楽を気楽に聴くことが出来ました。おそらくカラオケのファンには待ち遠しい番組なのではないでしょうか。」

永沼委員

7月18日(木)の放送について

「演歌好きな方には喜ばれる番組だと思う。市民の方に一曲でも歌っても貰うとカラオケという番組が生きるのではないかと思う。」

仁志委員

7月11日(木)の放送について

「雪道山ばば、オサムさん、ヒロムさんの人間関係を想像させる会話の中で番組は始まりました。演歌で始まり演歌で終わる、さすがタイトル通りと変に納得しました。曲紹介では、普段の少し個性的なコメントが欲しいかな。演歌は好きですが、時々はもう少しジャンルの違う演歌も聴きたいと感じました。出来れば軽めの演歌も混ぜた・・・次回も楽しみにしています。」

小川委員

7月18日(木)の放送について

「3名のパーソナリティー (PaPa、おさむ、ひろむ) だったが、番組内では「PaPa」と「おさむ」とのトークばかりで「ひろむ」の出番は殆ど無かったように感じました。男性ばかりだと声のトーンが似ているせいか、若干聴きにくいこともあったので、1名は女性を入れた方が良いのでは・・・番組の構成はとても良いと思います。是非長く続けて下さい。」

北口委員

7月18日(木)の放送について

「パーソナリティーのトークも軽快で聴きやすく、楽しい雰囲気も伝わり、さすが。という感じでした。曲数も多く、曲紹介のトークも丁度よく、この番組のファンは多いだろうなと思いました。殆ど知らない曲ではありましたが、演歌、歌謡曲の良さを感じられました。このように、曲中心、トーク少なめで、違ったリスナーの年齢層に向けた音楽制作番組が他にも欲しいと思いました。」

畑委員

7月23日(火)の放送について

「内山田洋とクールファイブの若い歌声に遠い年月を思い聴きました。昔々高校生の頃、洋楽を聞いていた事を思い出しました。最近ではラジオで歌番組を聴く機会もなく、演歌は久々に聞きました。道南は七飯町出身の島あきのさんの新曲紹介や、又、リクエスト等、歌手の皆さんの活動の近況と曲紹介。演歌の好きなリスナーの皆さんにとって、きっと楽しみにしている番組なのでしょうね。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。この番組は好きな人には良い番組だと思います。」

畑委員

「メインパーソナリティーはこの二人ですか。」

スタッフ松井

「ミキサー一人は話を振られたら話す感じで、以前は女性がミキサーに入っていましたがここ3年はこの3名です。」

永沼委員

「かえって落ち着いているなと思って聴いていました。」

畑委員

「このままの体制でやって行くのですよね。」

北口委員

「市民の方に歌って貰えたら良いのではないのでしょうか。」

スタッフ松井

「以前は市民の歌声を月に1回放送していました。」

永沼委員

「番組タイトルのようなカラオケ番組では無いのですよね。」

スタッフ松井

「曲のリクエストも多く、番組内でパーソナリティーたちの生歌も放送しています。」

岡委員長

「歌と歌を繋ぐ語りは流れが難しいが、こういう番組には大事なのだろうと感じました。カラオケ好きな人が聴くので、長く続いているのでしょうか。」

畑委員

「曲数は決めているのですか。」

スタッフ松井

「以前は曲を紹介する意味で1コーラス流していましたが

今は8曲程度にして曲を聴いてもらうようにしています。」

岡委員長

「カラオケだから素人が出てくるかと思ったが、出られるようにすると番組を聴く人も多くなるのではないのでしょうか。」

スタッフ松井

「検討します。」

岡委員長

「人気がある番組ですし、幅広い人が出られる場面を作れそうなので期待します。では次に進みます。」

(2) 市民制作番組について

「バンドマガジン」

地元、アマチュアバンドの情報や、プロ・アマ問わず色々なバンドの情報をベテランパーソナリティーがお送りする番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

7月6日(土)放送について

「バンドの情報を軽快な語りと聞きやすい話し方で語っていた。普段あまりじっくり音楽は聴いてはいないが、そんな歌があるんだと思いながら、流される歌を気楽に聞くことが出来た。特に井上揚水の歌は心に響くものがあり、歌詞を改めて噛みしめながら聴くことが出来た。音楽番組はやはり流される音楽と紹介の言葉や語りとのマッチング、導入雰囲気大切と思いながら今回の二つの審議対象番組を聞きました。」

仁志委員

7月6日(土)の放送について

「岩見沢でのバンド活動の草分け的存在のオシドリ夫婦

「トミーさんカヨさん」の20年継続の掛け合いは、家庭内の「パワーバランス!!」を感じさせる番組で楽しい番組です。夏のラテン、サルサのアレンジが新しい感覚でしたが「少レア」と感じました。改めてオリジナルの良さを感じながら感性の硬直化も自覚しました。大黒摩季さん「夏が来る」「あなただけをみつめて」など、陽水など「素敵な音楽」と過ごした時間を懐かしく感謝して番組を聴きました。次回も楽しみにしています。」

② 審議

岡委員長

「20年。長い番組ですよ。選曲が良かったです。音楽番組は聴く人の傾向がありますよね。」

木村委員

「パーソナリティーは二人ともバンドをやっていて、聴いていてトークのリズムが良いし円熟味もありますね。この時間帯で歌から離れた番組を誰かトライして貰っても良いのではないのでしょうか。局と市民制作でお互いの番組に出演するなど連携してやっても良いのではないのでしょうか。」

岡委員長

「長寿番組に関して、リスナーから番組に対する意見等はあるのですか。」

スタッフ松井

「特に来ていません。」

岡委員長

「良い番組だと思います。今回の審議番組は歌中心の番組でした。他になければ次に進みます。」

(3) その他の意見について

① 事前意見回答報告

木村委員

「7月13日、14日に開催された JOINALIVE 2019 についてスタッフ2名に取材して頂き、コンサートの様子など放送の中に取り上げて頂き感謝いたします。今年の JOINALIVE は10回目になりますが、地元のグリーンランドと NPO はまなすアートも第1回より会社を上げてのこのイベントの支援を行って来ました。NPO はまなすアートは教育大生の支援を受けてオルタナティブガーデンを企画運営し、又、スタッフとボランティアスタッフで入場整理、救護室の運営を行って来ました。それ以外にもフードコートでは岩見沢バルとして地元のワイン、料理を販売し、おおくの来場者に喜んで頂きました。また、今年からは12日夜に赤レンガホールで前夜祭コンサートを行い、300人以上の観客を集め、大いに盛り上がりました。今後 FM スタッフの皆さんもフェスのステージだけではなく、北海道を代表する夏フェスとなった JOINALIVE に岩見沢市民、地元企業がどのように関わり、支援し、地域活性化の為に汗を流しているのかを岩見沢市民に知ってもらえるような視点でも放送をして頂ける事を心から希望します。宜しくお願いします。」

② 審議

木村委員

「他の地域の人が聴くことが出来ないような事や、知らないような事を地元のFM局に取材して欲しい。」

畑委員

「学生のねぶたを取材して欲しかった。」

木村委員

「ニュースや交通情報で聞きにくいことも有り、放送レベルが落ちているように感じます。」

岡委員長

「地域の情報や得をするような放送を流すのは大事だと思います。」

北口委員

「火曜ドラマ「あゆみさん」が賞を取りましたよね。もっとPRしたら良いのではないのでしょうか。」

岡委員長

「地域の情報を少しでも吸い上げられればもっと聴いてもらえると思います。少しでも改善して頂ければと思います。他に意見がなければこれで終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

1) 局制作番組

「そこが知りたあ〜い!!」については、
今後も様々なゲストに出演して頂き、地元の情報や地元企業の情報を発信していくよう指導した。

2) 市民制作番組

「ステージの合間に」については
良い番組作りの為に番組構成の検討をお願いした。

3) 他局制作番組

火曜ラジオドラマ「あゆみさん」
他局との連携も含め、今後も続けて放送していきたい。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法 自社放送、ホームページ、局内設置議事録

公表内容 委員の主な意見

公表年月日 令和元年8月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。